



**仮称：てだこシティー・AIオンデ
マンド型乗合サービス**

現状の背景と課題への対応

各業種における人材不足によって、バス運行においても **運転手不足**に伴い**路線バス減便**が発生している。

浦添市内路線バスも減便となり市民（特に交通弱者等）、来訪者（観光客等）の**移動手段制約**に繋がっている。

※経済、観光への負の影響が出る。



【課題解決策として】

- ・ **乗合タクシー**を活用したタクシーとバスの機能性を併せ持つ中間的移動交通により、市民、来訪者の移動手段を担う。
- ・ 路線バスやコミュニティバスではカバーできない高齢者等の**交通弱者にドア to ドアの交通手段**を乗合いにて提供する。
- ・ **運転手不足解決**に向けて、将来的に電気自動車タクシーを導入し、さらに未来の自動運転技術の導入、浦添市のモノレール最終駅周辺まちづくり「環境未来都市構想」の再生可能エネルギー活用も見据え、**環境にやさしい移動手段**を目指し、経済・観光への推進につなげる。

オンデマンド型乗合サービスとは

既存のタクシー等の車両に、複数の乗客が乗合するサービス

乗客Aから迎車依頼

別の乗客Bから迎車依頼

AIシステムがルートを自動計算
乗客AとBは乗り合い



パルコに行きたい

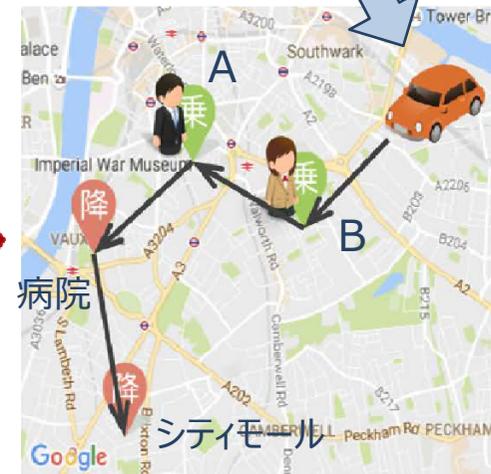


病院をお願いします



以下順路で走行して下さい
B→A→病院→シティモール

オンデマンドAIシステム



オンデマンド型乗合サービスのメリット

バスのように**気軽** (乗車賃はタクシー未満)

タクシーのように**便利** (乗車地/目的地はピンポイントで指定可能、時間もある程度指定可能)

ただ、便利さではタクシーに叶わず、値段はバスよりも高い・・・

* **バスとタクシーの間を埋める新しい公共交通へ**

中心部での効率的 & 環境に優しい交通に
渋滞減、無駄な待機車減



郊外部での交通弱者(高齢者・障害者等)対策に
免許返納対策にも



地元/言葉に不慣れな観光客の足に



オンデマンド型乗合システム（乗客用）

乗客は、1.乗車場所 2.降車場所 3.乗車希望時間 4.人数をスマホ(必要に応じ電話)で依頼
(初回登録後、入力箇所は上記4つのみ)



迎車予定時刻及び目的地への到着予定時刻を表示
タクシーの現在走行場所をリアルタイムに確認可能

The screenshots show the following steps:

- Step 2/4:** Selecting a drop-off location on a map. A callout box says "ここを降車地点にする" (Use this as the drop-off location).
- Step 3/4:** Entering the number of passengers and the desired pickup time. The screen shows:
 - 乗車地点: 愛知県名古屋市千種区吹上1丁目2-16
 - 降車地点: 愛知県名古屋市昭和区宮東町234 パティオ101
 - 乗車人数: 2人
 - 希望日時: 12.00乗車
- Step 4/4:** Confirming the booking. The screen shows:
 - 乗車予定時刻: 12:00
 - 降車予定時刻: 12:17
 - ご利用料金: 乗合あり: 950円, 乗合なし: 1710円
 - A warning: "道路の混雑状況などにより到着が遅れる場合がございます" (Arrival may be delayed due to traffic congestion, etc.)
 - A countdown timer: "41秒後に自動でキャンセルされます" (Auto-cancelled in 41 seconds).
- Final Screen:** A confirmation screen with the text "7号車がお迎えに上がります" (Car No. 7 is coming to pick you up) and the same schedule and fare information.

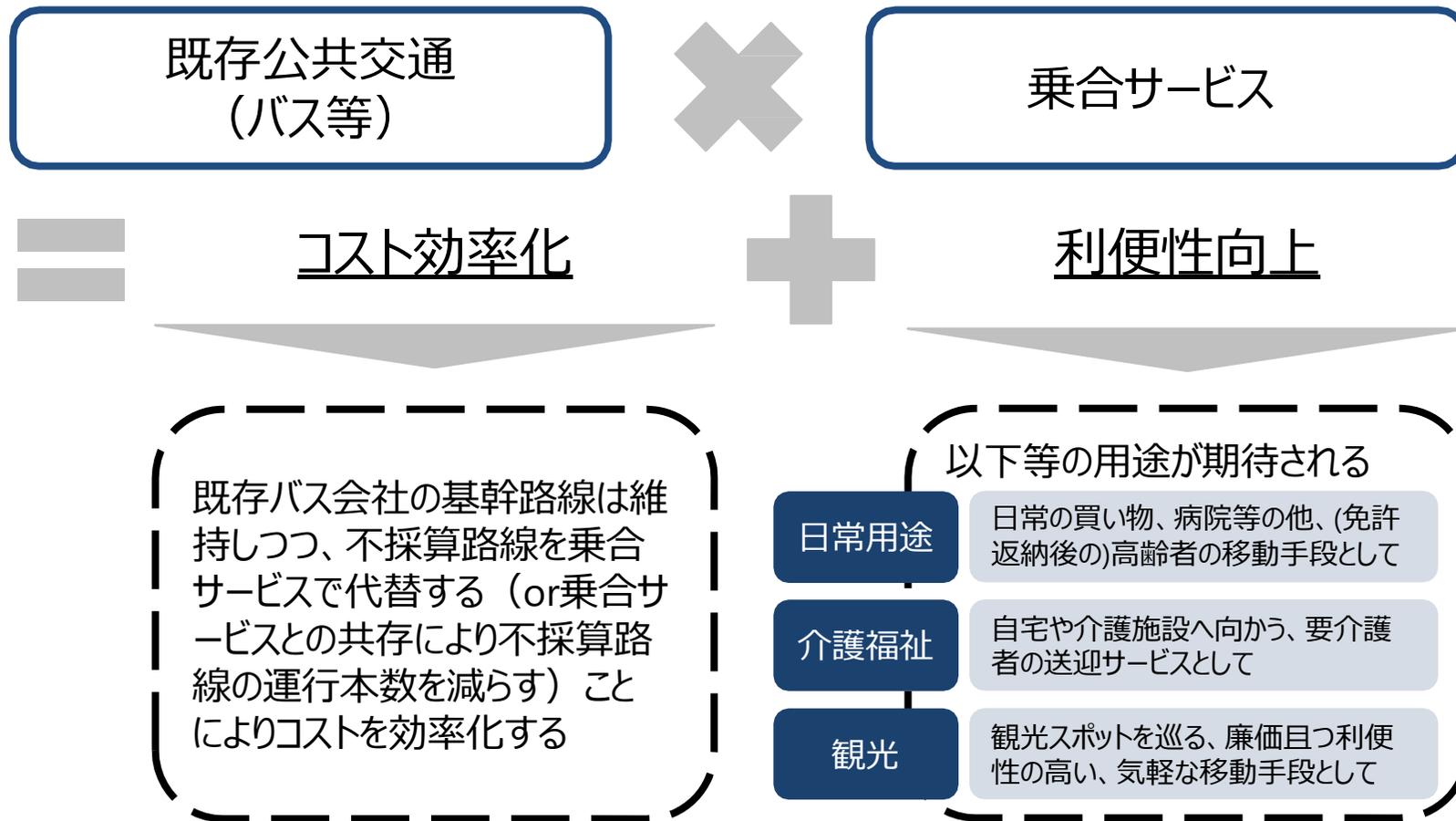
オンデマンド型乗合システム（タクシー用）

タクシーにタブレット端末を装着

タブレット端末には地図と目的地/予定時間が表示されるので、タクシーはそれに従って走行指示された場所に到着し、“完了”ボタンを押すと、次の目的地が表示



乗合サービス導入を介して目指すもの



- 乗合サービスは既存公共交通を代替するものではなく、**補完関係を築く**ことで双方メリットの最大化・**公共交通全体の利便性向上**を目指すもの
- 商業施設・病院/介護福祉施設・観光スポット等も巻き込み、**域内関係者で協同**して魅力ある街づくりを行う1つのツールとして乗合サービスの導入を検討する

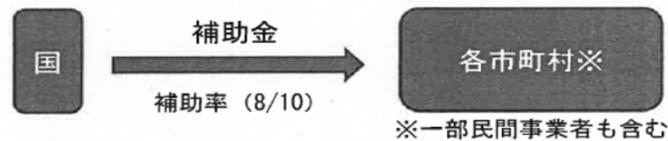
沖縄振興特定事業推進費（内閣府政策統括官（沖縄政策担当））平成31年度予算概算決定額 **30.0億円**
（新規）

趣旨・目的

○ 沖縄振興特別推進交付金（ソフト交付金）は、県及び市町村が事業を計画的・継続的に実施するための財源として、客観基準に基づき、毎年度県及び市町村に安定的に配分されるものであるため、多様な地域課題・政策課題への迅速・柔軟な対応が困難なケースもあり得る。

○ 「沖縄振興特定事業推進費」は、このようなケースに備え、事業を機動的に推進するための財源として、ソフト交付金を補完し、主に、臨機応変な財源捻出が困難な市町村に配分される。

資金の流れ



事業概要

◆補助の根拠：予算補助

◆補助対象事業：ソフト交付金の対象事業（沖縄の振興に資する事業及び沖縄の特殊事情に起因する事業）のうち、以下の要件を満たすもの

① 機動性要件

（多様な地域課題・政策課題に対応するため迅速・柔軟に対応する必要がある事業等）

先導性要件

（他の市町村にも広げていくことが望ましい事業）

② 又は

広域性要件

（事業の効果が当該市町村にとどまらず広域に及ぶと見込まれる事業）

（注）従前の拠点返還地跡地利用推進交付金の対象事業から引き継がれる事業及び31年度に採択され次年度以降に引き継がれる事業については要件②を満たすもの。

◆補助対象者：市町村

市町村と密接に連携して取り組む民間事業者

◆補助率：8/10



平成31年4月1日
内閣府沖縄担当部局

平成31年度沖縄振興特定事業推進費補助金の交付決定について

平成31年度予算が成立したことを踏まえ、沖縄振興特定事業推進費補助金の交付を決定。

- 平成31年度予算額：30.0億円
- 交付決定額：1.9億円（6.4%）9事業
 - 旧拠点返還地跡地利用推進交付金事業：0.7億円 7事業
 - 民間補助金事業：1.2億円 2事業

(注) 四捨五入のため、内訳と合計は必ずしも一致しない。

○民間補助金事業

(単位：百万円)

事業名	民間事業者名 (認定市町村)	事業概要	交付額 (国庫)
島ぜんぶでおきな祭 (第11回沖縄国際映画祭) 関連イベント	吉本興業株式会社 (那覇市、宜野湾市、大宜味村)	第11回沖縄国際映画祭の開催に関連して、子供の教育、SDGs、スポーツ・芸術等に関する公共性の高いイベントを開催する。	85
コワーキングスペース「あけみお」構築事業	株式会社ゆがふホールディングス (名護市)	ホテル「ゆがふいんおきなわ」のロビーを、無償で利用できるコワーキングスペースにリノベーションし、観光客、仕事で訪れた方々、名護市民が気軽に集える場を構築する。	40



令和元年6月28日
内閣府沖縄担当部局

令和元年度沖縄振興特定事業推進費補助金の
第2回交付決定について

令和元年度沖縄振興特定事業推進費補助金について、交付を決定。

- 令和元年度予算額：30.0億円
- これまでの交付決定額：1.9億円 9事業
- 今回交付決定額：21.6億円 1事業

(単位：百万円)

市町村名	事業名	事業概要	交付額 (国費)
沖縄市	沖縄アリーナ整備事業	コザ運動公園内においてプロスポーツ興行、コンサート、展示会等開催時に市内外から1万人規模の観客を収容可能なアリーナを整備する。	2,162

- 交付決定日：6月28日（金）

残6.5億へエントリー

浦添市乗合サービス運行形態



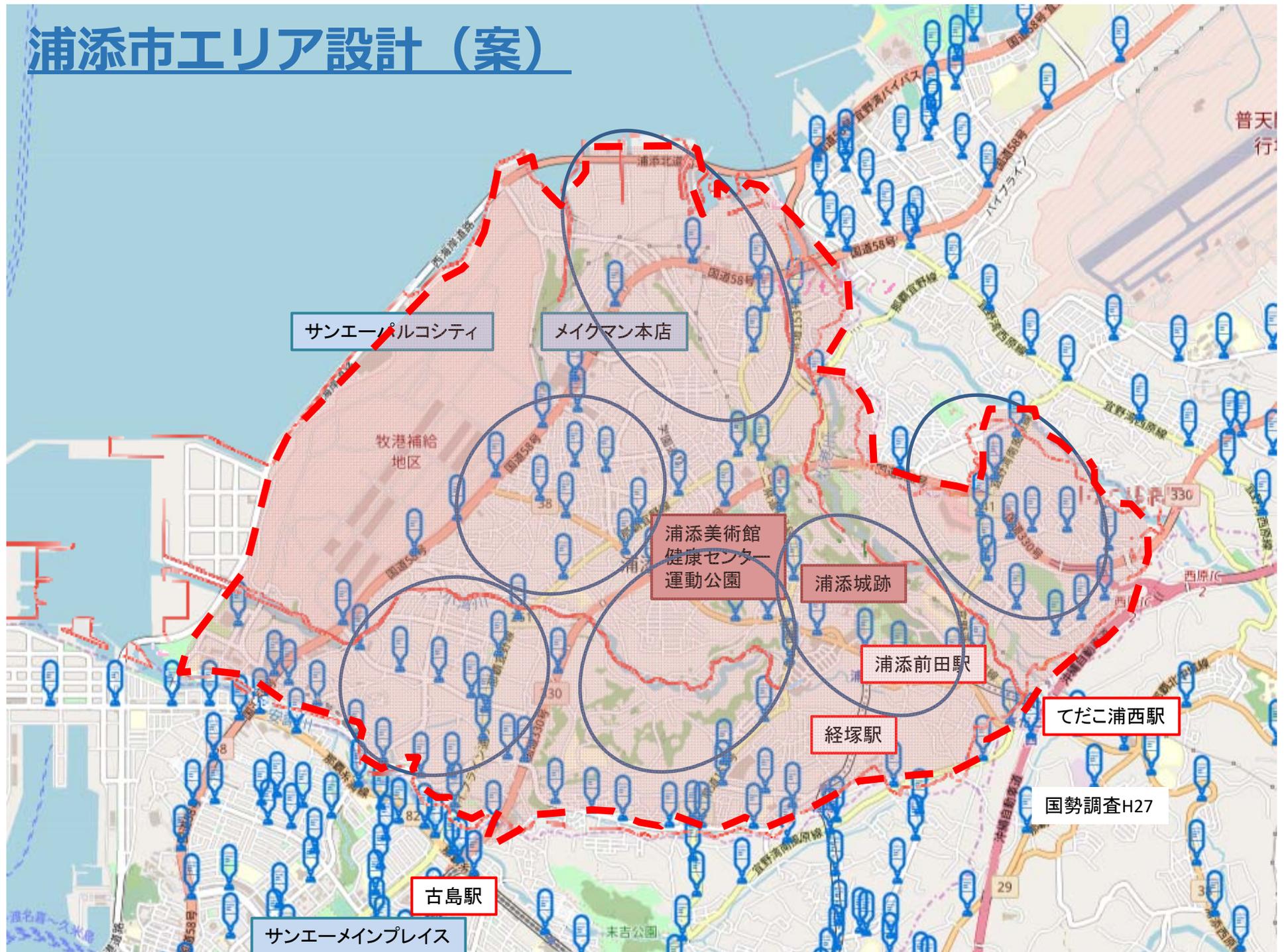
【車 両】 ジャンボータクシー（10名乗り）12台

【運行エリア】 浦添市内全域

【運 賃】 市内一律300円

【精 算 方 法】 現金払い、スマホ決裁

浦添市エリア設計 (案)



事業効果

直接効果

- ①市内の交通空白地域をカバーすることが出来る。
- ②市内 11事業者が連携し 取組む事により、利用者（予約者）の最短ルートの運行が図れ、社会全体の移動コストの効率化や運行コスト低減や利用者への時短が図れる。
- ③交通利用者のスマートフォンでの利用を促進し、タクシー配車サービスや将来的なMaaSサービス（多様な交通手段のワンストップ利用）への利用障壁を低減する。

間接効果

- ①浦添市も高齢化社会へと進んでゆくことから、移動性確保により、高齢者の免許返納の促進と返納者の移動手段を確保し、高齢者交通事故を未然に防ぐ
- ②乗降状況をビッグデータとして蓄積し今後の交通計画、都市計画に活用する。
- ③市域の浦添市内の、免許返納に伴う空き駐車場用地の有効活用を図る
- ④既存商業・観光支援コンテンツとの連携が図れ、観光客の消費向上へ繋げる。
（商工会議所：まちゼミ・りっか！うらそえ等）

他市町村や交通サービスへの波及

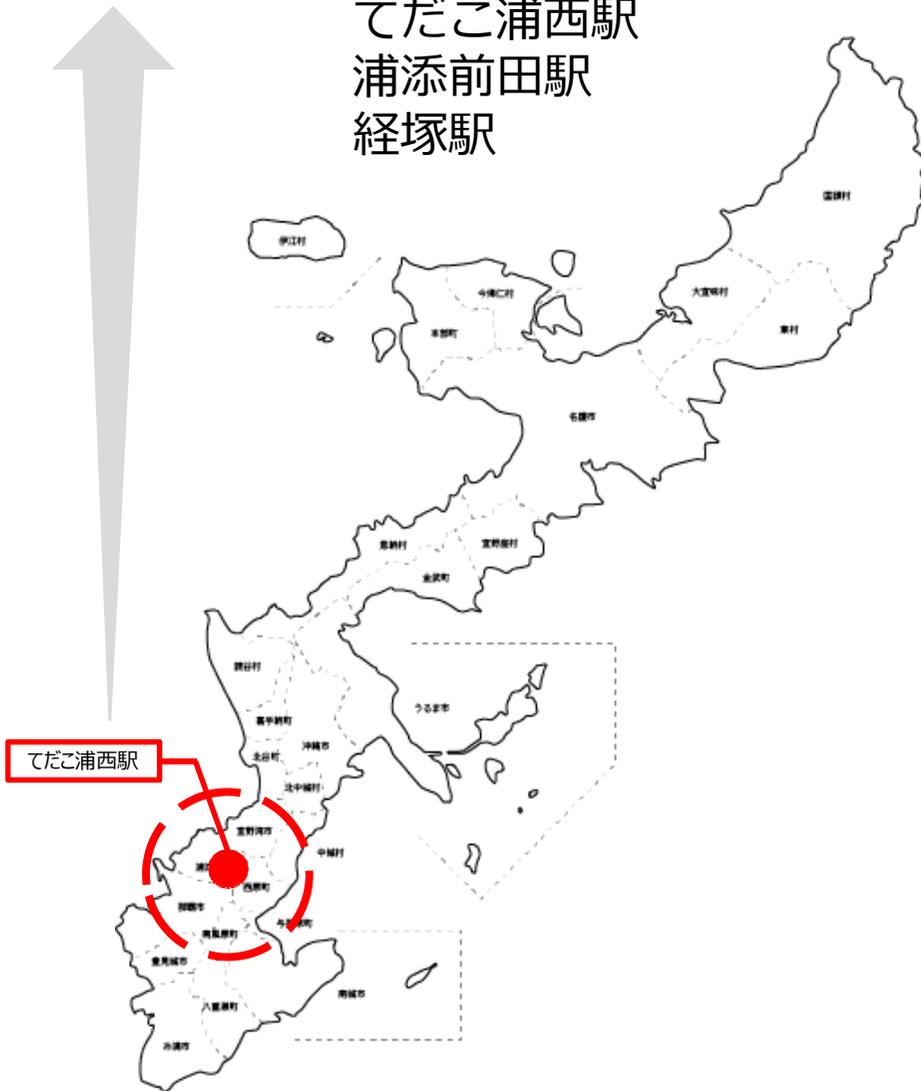
- 現状、隣接する宜野湾市、中城村、西原町と那覇市をつなぐ大量輸送手段がないことから、延長されたモノレールの駅と各自治体を結ぶ輸送手段への展開が必要とされており、タクシーによるデマンド乗合サービスであればこういったサービスへの拡張も容易であり、将来的に実施可能。
- 大量輸送が可能な路線バスへの結節を含めて検討することで、下記の様な複数の移動手段を組み合わせた移動サービスを広域の自治体にて提供可能。
 - ▶モノレール→乗合サービス→路線バス→タクシー
 - ▶モノレール→乗合サービス→路線バス→乗合サービス
- 右図のMaaSのサービスレベルで示されるような広域な市町村を連携した定額制モデルへの発展等も視野に入れることが可能
- 浦添市乗合サービスで浦添市とタクシー業界が他市町村への先導事例となり、沖縄県での広域MaaSサービスへの足掛かりとなる



目指すこと

浦添市へ延長されたモノレール駅を中心とする移動手段の多様化

てだこ浦西駅
浦添前田駅
経塚駅



乗合サービスの役割期待

1

延長されたモノレール駅起点の移動手段確保

てだこ浦西駅を起点とする移動手段を確保すると共に、この整備を通じてゆいレールやバスの利用者を増大させ交通渋滞の緩和に繋げる

2

交通弱者を含む市民の日常利用

通院、買い物、食事、市役所での諸手続き等、市民の安価で気軽な移動手段として新しいサービスを提供。
交通弱者へのドアtoドアの移動手段の提供

3

観光客向け移動手段

国内外から多数来訪する観光客の移動ニーズに応えるサービスとして導入。将来的に英語をはじめとする外国語対応アプリも実装予定



本会議での承認事項

運行条件

【車 両】 ジャンボータクシー（10名乗り） 12台

【運行エリア】 浦添市内全域

【運 賃】 市内一律300円

【精 算 方 法】 現金払い、スマホ決裁